

交通の「安全と教育」輪講(連続講座) 主意書

この会は、第12回「自転車利用環境向上会議 in 敦賀・若狭」での「安全・教育」分科会の発展形態として活動を始めた。その目的は、自転車のみならず広く交通事故全体の減少のために、安全な交通インフラの確保と安全に資する社会システムの構築、交通安全に関する教育などについて互いの知識と経験を深め、各地域で実践することにある。

具体的には、年1回の「自転車利用環境向上会議」までの間に、各地で勉強会を重ね、その成果を持ちより、次の向上会議につなげることである。

一例として、石川県金沢市では、この15年間で、自転車関連事故が75%減少したが、その要因として、自転車の歩道走行が減少し、狭い道では自転車は車道左側を走るようになったこと、さらに市内中心部ではクルマが減速するようになったことが考えられる。では、そのためにいかなる具体的な対策が取られたのか、それを可能にしたものは何であったか、自転車を利用する高校生や市民にそれをどのように伝えていったかなど、積み重ねた知識と経験がある。そうした各地の事例や経験知を持ち寄って話し合い、知見を共有することがこの勉強会の主旨である。

それにより各地からの参加者が地域の課題を見出し、市民・行政・警察、企業などのステークホルダー(関係者)と連携して学んだことを実際に活かしていく動きが全国に広がることを期待したい。

まずは第一回目として、東京で、別紙の通り、交通の「安全と教育」輪講を開催します。東京ならびに関東地区の行政関係者、民間事業者、関心あるすべてのステークホルダー、市民のみなさんにご参加をお願いいたします。

令和6年12月吉日

「安全と教育」輪講 世話人代表 三国 千秋
(「自転車利用環境向上会議全国委員会」監事)